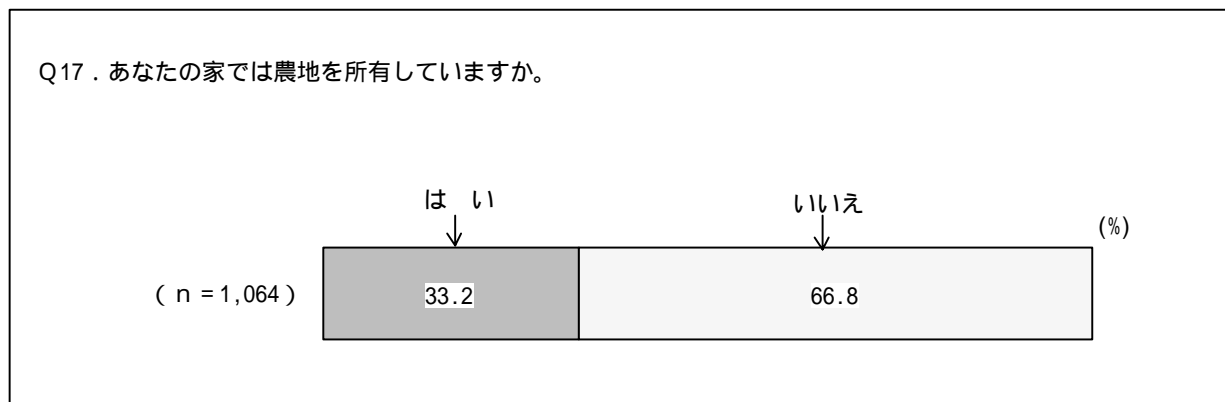


市民農園に関する県政世論調査結果（平成14年7月）

市民農園等の利用

1. 農地所有の有無

農地を持っている人は3人に1人



農地所有の有無は、「はい」が33.2%で3人に1人の割合になっている。一方、「いいえ」は66.8%であった。

農地所有者は人口10万以上の市で2割弱

地域別にみると、農地所有者（「はい」）は鹿行で5割強と突出して多いが、他の4地域は3割前後の比率である。

市郡別にみると、農地所有者は人口5万未満の市で5割、郡部で4割台半ば、人口5万以上の市で2割強、人口10万以上の市で2割弱の順になっている。

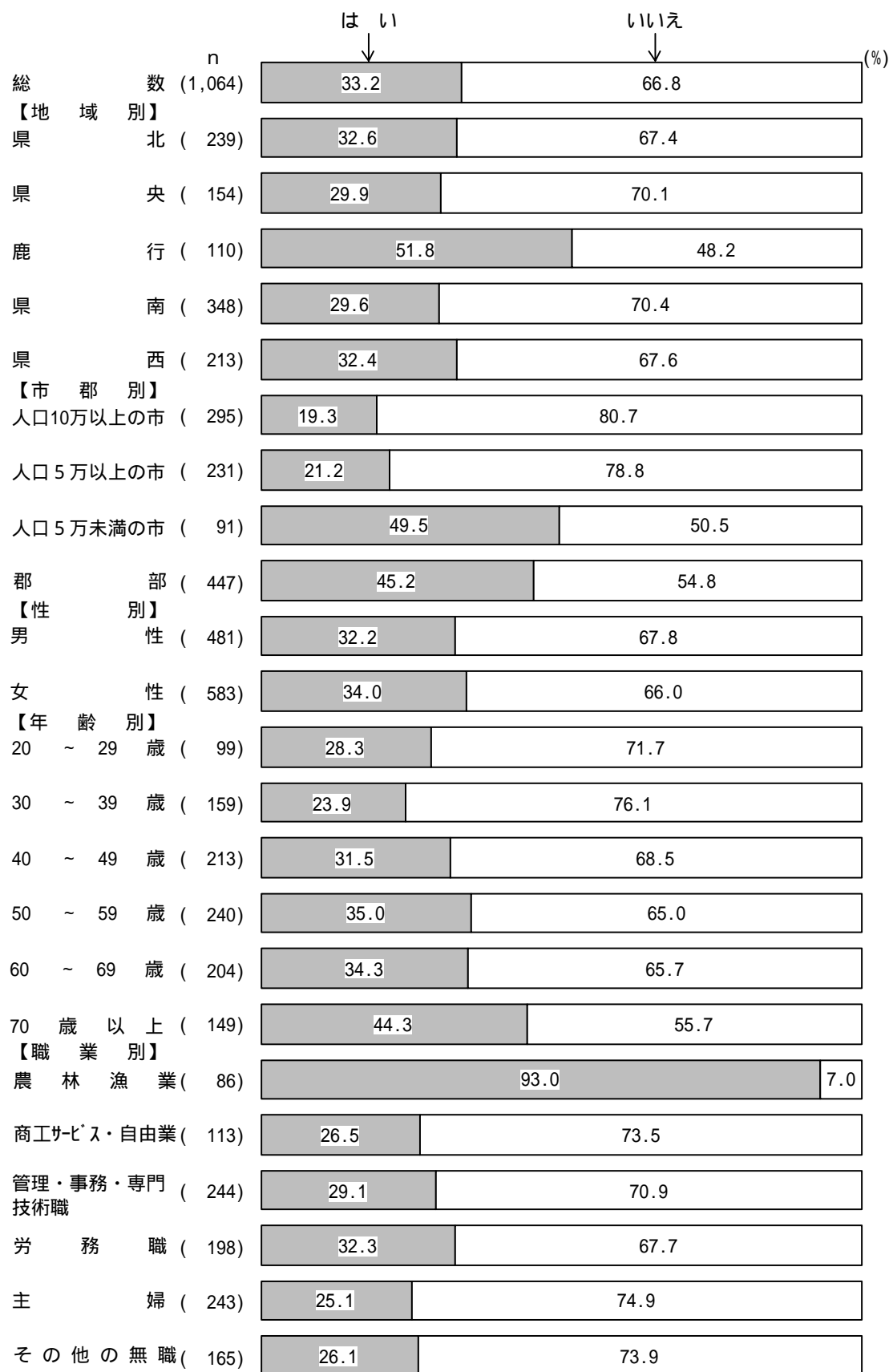
農地所有者は70歳以上が多い

性別にみると、男女差はほとんどみられない。

年齢別にみると、農地所有者（「はい」）は70歳以上で多く、20～30代で少ない。

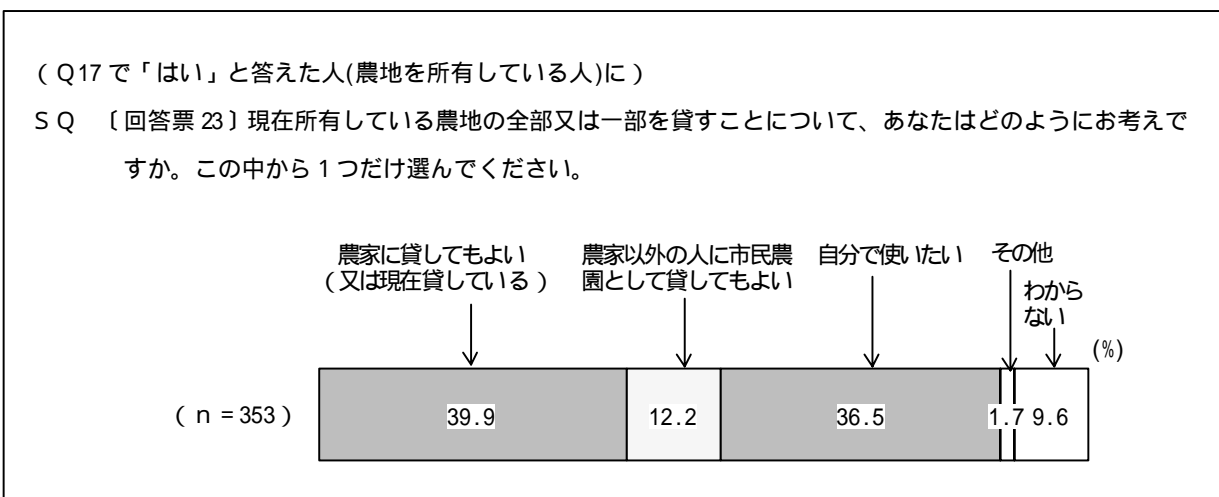
職業別にみると、農林漁業以外は2～3割台の同程度の割合である。

図 1 - 1 農地所有の有無（地域別、市郡別、性別、年齢別、職業別）



2. 所有農地を貸すことについての意識

「農家に貸してもよい」が4割



農地を所有している人(353人)の所有農地を貸すことについての意識は、「農家に貸してもよい(又は現在貸している)」(39.9%)が4割、「農家以外の人に市民農園として貸してもよい」(12.2%)が1割強で、これらを合わせた貸してもよいと思う人は52.1%と半数を超える。一方、「自分で使いたい」(36.5%)は3割台半ばである。

人口10万以上の市では「自分で使いたい」が多い

地域別にみると、「農家に貸してもよい(又は現在貸している)」は県北や県西、「自分で使いたい」は、鹿行や県南でそれぞれ多い。

市郡別にみると、人口10万以上の市では「自分で使いたい」が多く、半数近くを占める。

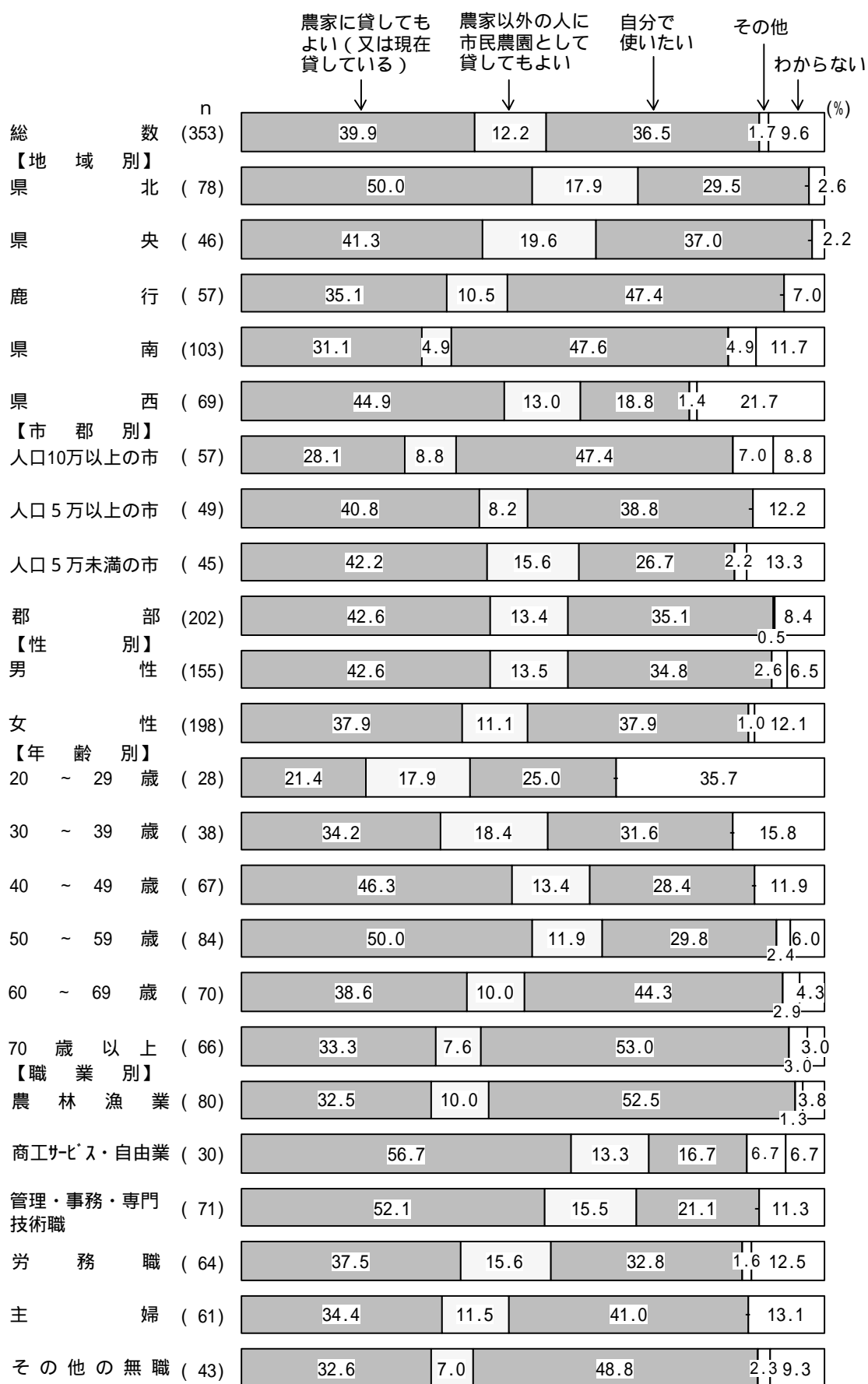
「農家に貸してもよい(又は現在貸している)」は40~50代に多い

性別にみると、女性は男性より「自分で使いたい」が若干多い。

年齢別にみると、40~50代は「農家に貸してもよい(又は現在貸している)」、60代以上は「自分で使いたい」がそれぞれ多い。

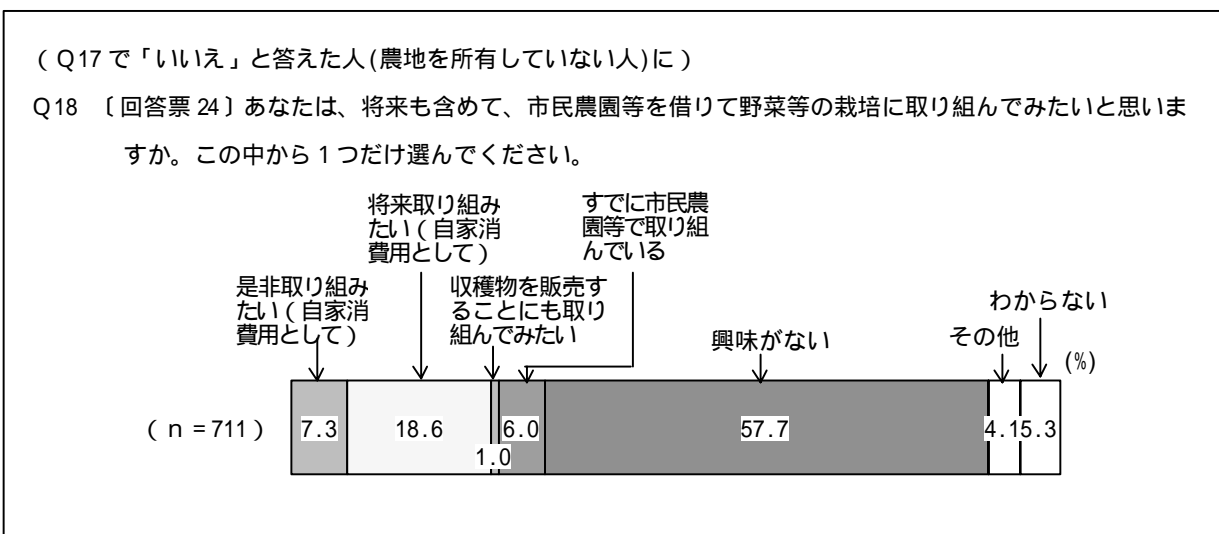
職業別にみると、商工サービス・自由業や管理・事務・専門技術職は「農家に貸してもよい(又は現在貸している)」が多く、半数を超えている。一方、農林漁業、その他の無職は「自分で使いたい」が多い。

図 2 - 1 所有農地を貸すことについての意識（地域別、市郡別、性別、年齢別、職業別）



3. 市民農園等の利用意向

利用意向者は 32.9%



農地を所有していない人(711人)の市民農園等の利用意向については、「是非取り組みたい(自家消費費用として)」(7.3%)、「将来取り組みたい(自家消費費用として)」(18.6%)で、合わせた自家消費費用としての利用意向者(『自家消費費用(計)』)は25.9%である。これに、「すでに市民農園等で取り組んでいる」(6.0%)と「収穫物を販売することにも取り組みたい」(1.0%)を合わせた利用意向者(『取組あり・意向あり(計)』)は32.9%を占める。一方、「興味がない」人は6割弱(57.7%)と多数である。

県北に多い利用意向者

地域別にみると、利用意向者(『取組あり・意向あり(計)』)は県北で4割弱、県南で3割台半ばと多い。

市郡別にみると、利用意向者は人口5万以上の市が3割台半ばで最も多い。

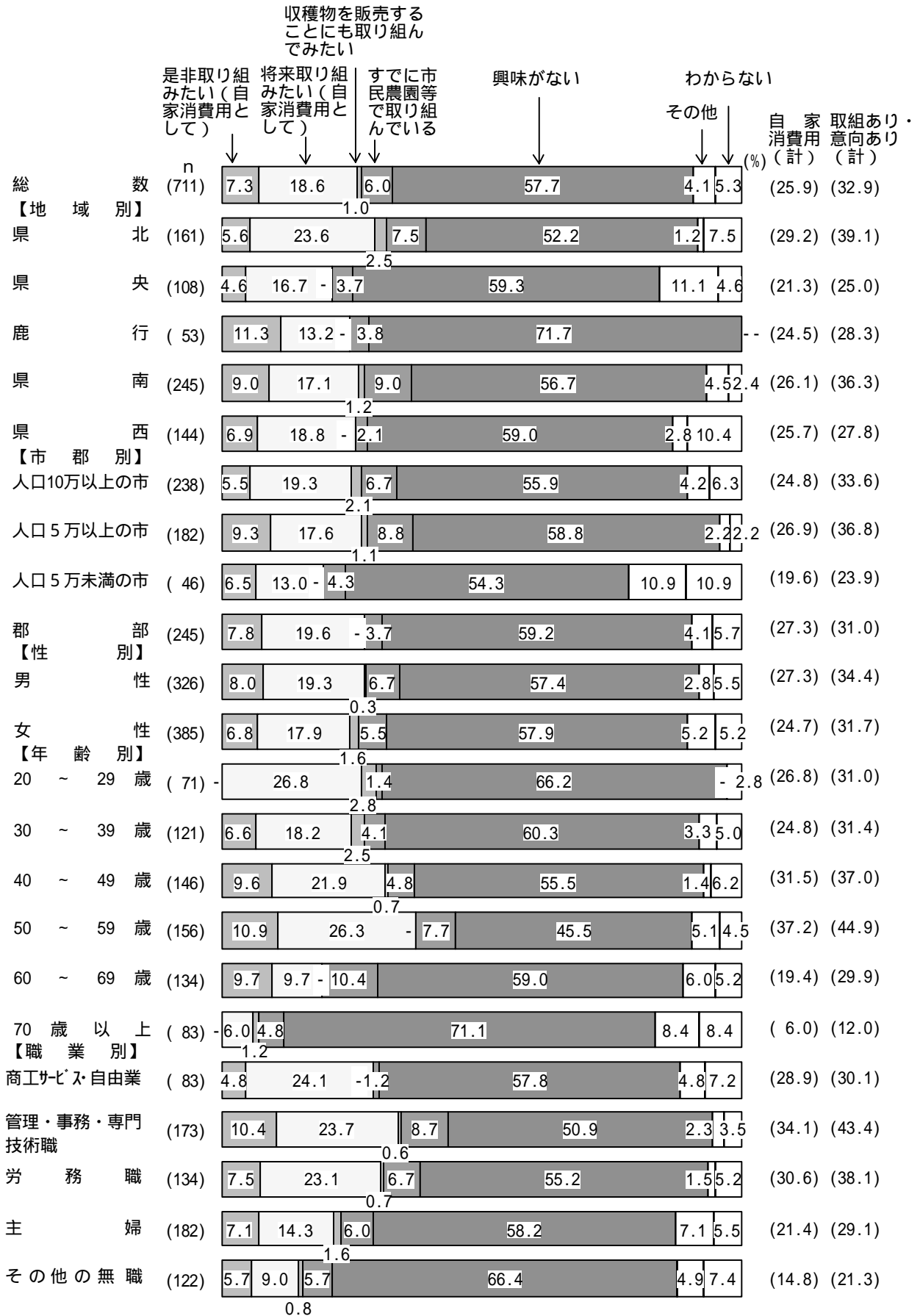
50代や管理・事務・専門技術職に多い利用意向者

性別にみると、女性より男性に利用意向者(『取組あり・意向あり(計)』)が若干多い。

年齢別にみると、利用意向者は50代、40代で多く、特に50代では4割台半ばの高比率になっている。

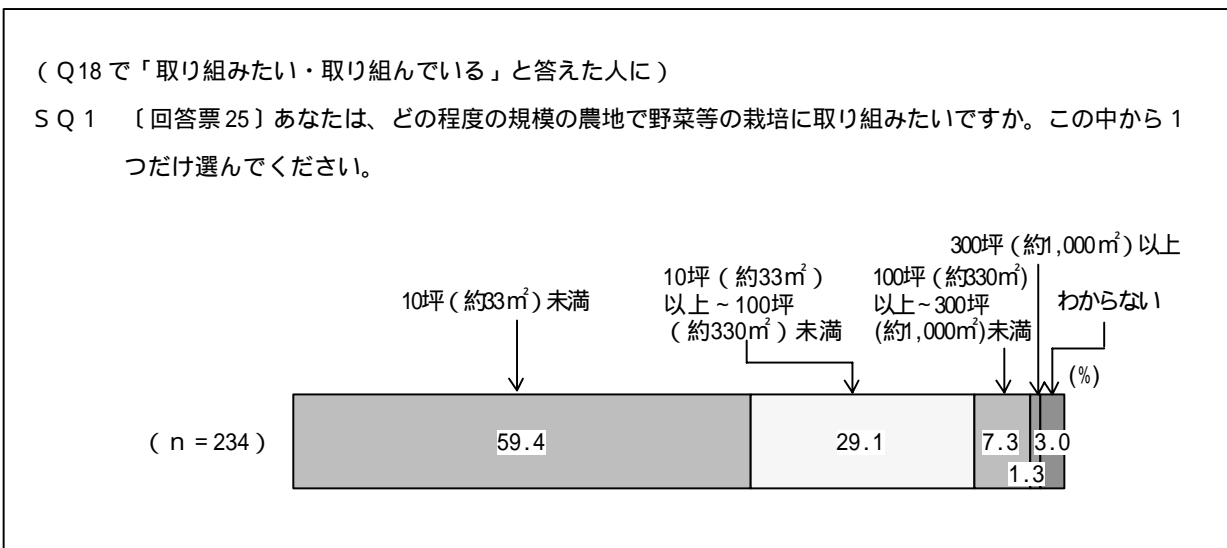
職業別にみると、利用意向者は管理・事務・専門技術職や労務職で多く、管理・事務・専門技術職で4割強になっている。

図 3 - 1 市民農園等の利用意向（地域別、市郡別、性別、年齢別、職業別）



4. 取り組む場合に希望する農地の規模

「10坪（約33㎡）未満」が6割弱



「取り組みたい・取り組んでいる」と答えた人(234人)の取り組む場合に希望する農地の規模は、「10坪（約33㎡）未満」(59.4%)が6割弱で過半数を占める。次いで、「10坪（約33㎡）以上～100坪（約330㎡）未満」(29.1%)が多く、3割弱で、合わせると9割近く(88.5%)を占める。

「10坪（約33㎡）未満」の小さい規模は各地域で5割を超える

地域別にみると、「10坪（約33㎡）未満」の小さい規模は各地域で5割を超え、県北が6割台半ばで最も多い。「10坪（約33㎡）以上～100坪（約330㎡）未満」は県南、「100坪（約330㎡）以上～300坪（約1,000㎡）未満」は鹿行でそれぞれ多い。

市郡別にみると、「10坪（約33㎡）未満」の小さい規模は郡部より市部で若干多い。

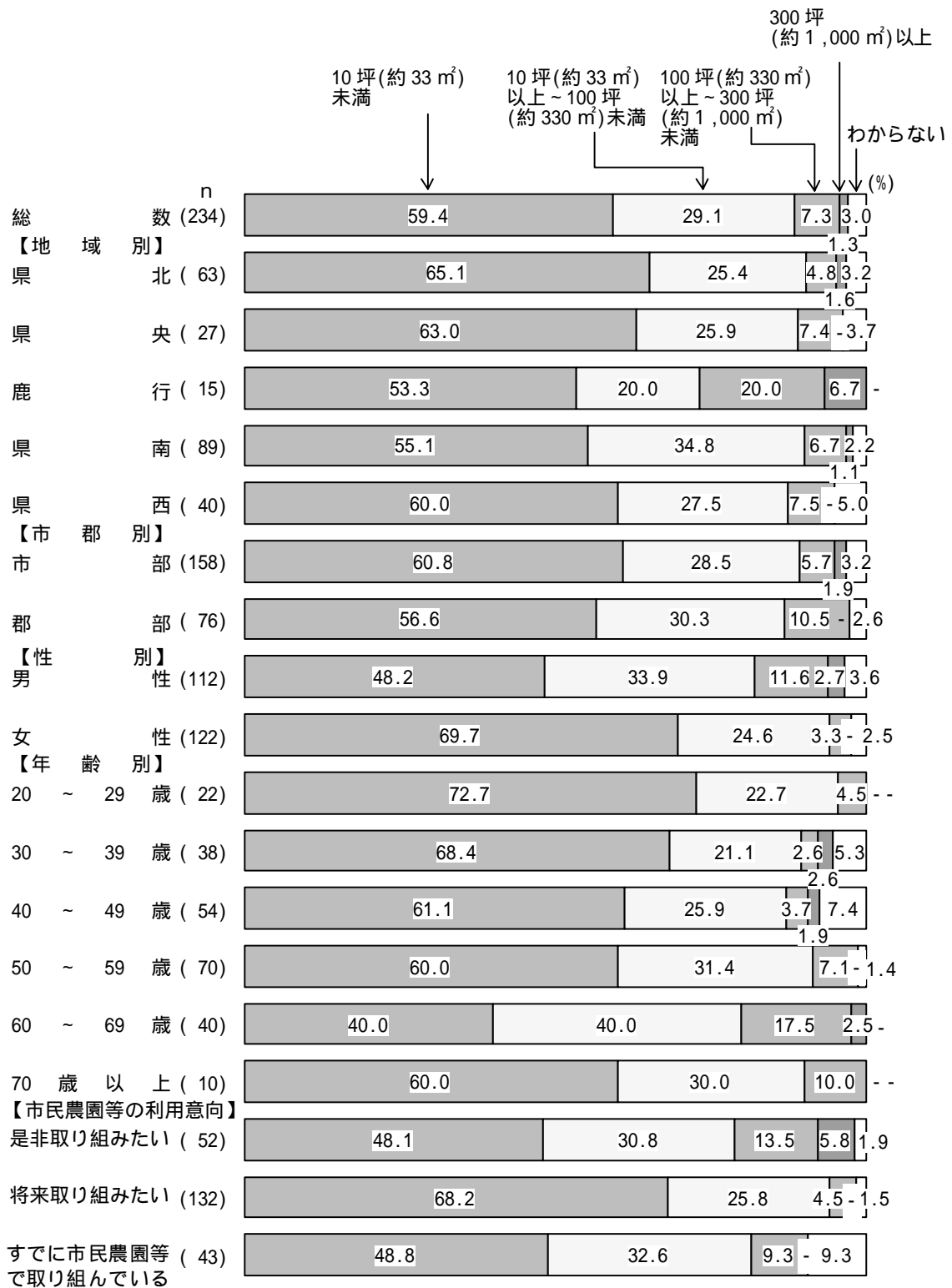
女性に多い「10坪（約33㎡）未満」の小さい規模

性別にみると、「10坪（約33㎡）未満」の小さい規模は女性に多く、男性と22ポイントの差がみられる。それ以外の規模は男性の割合が高い。

年齢別にみると、「10坪（約33㎡）未満」の小さい規模は20～30代で多い。60代は「10坪（約33㎡）以上～100坪（約330㎡）未満」や「100坪（約330㎡）以上～300坪（約1,000㎡）未満」の割合が他の層に比べて高くなっている。

市民農園等の利用意向別にみると、是非取り組みたい人は「100坪（約330㎡）以上～300坪（約1,000㎡）未満」やその上のランクで他の層に比べて割合が高い。

図 4 - 1 取り組む場合に希望する農地の規模
 (地域別、市郡別、性別、年齢別、市民農園等の利用意向別)

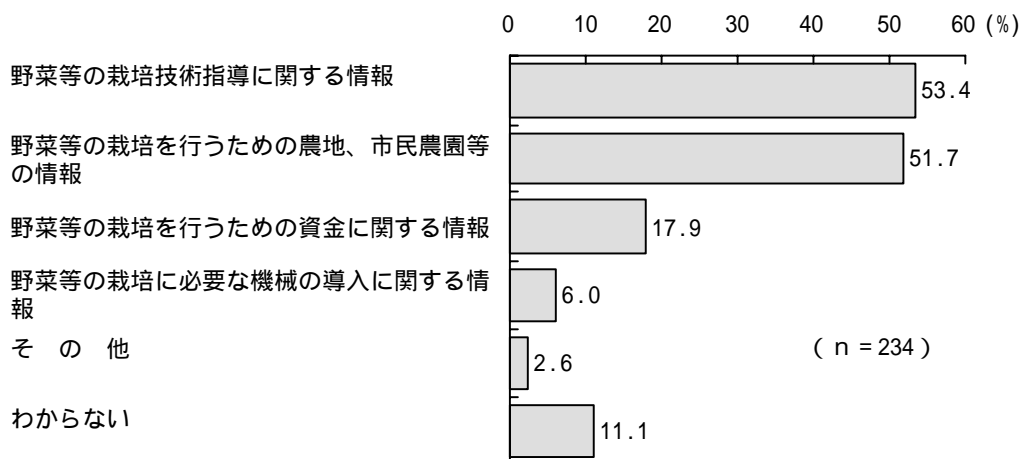


5. 取り組む場合に知りたい情報

「栽培技術指導に関する情報」と「農地、市民農園等の情報」が半数以上

(Q18で「取り組みたい・取り組んでいる」と答えた人に)

S Q 2 [回答票 26] あなたが野菜等の栽培に取り組む場合、あなたが知りたい情報は何か。この中からいくつか選んでください。(M.A.)



「取り組みたい・取り組んでいる」と答えた人(234人)の取り組む場合に知りたい情報は、「野菜等の栽培技術指導に関する情報」(53.4%)と「野菜等の栽培を行うための農地、市民農園等の情報」(51.7%)が多く、半数以上の人があげている。そのほかは、「野菜等の栽培を行うための資金に関する情報」(17.9%)「野菜等の栽培に必要な機械の導入に関する情報」(6.0%)となっている。

男女とも過半数が「野菜等の栽培技術指導に関する情報」

性別にみると、男女とも過半数が「野菜等の栽培技術指導に関する情報」をあげている。

年齢別にみると、「野菜等の栽培を行うための農地、市民農園等の情報」は20代で7割強と多く、50代でもトップにあげられているが、これらの年代以外は「野菜等の栽培技術指導に関する情報」をあげた人が最も多い(70歳以上は同比率)。また、「野菜等の栽培を行うための資金に関する情報」は20代で4割強と多い。

市民農園等の利用意向別にみると、是非取り組みたい人やすでに市民農園等で取り組んでいる人は「野菜等の栽培技術指導に関する情報」、将来取り組みたい人は「野菜等の栽培を行うための農地、市民農園等の情報」が最も多い。

図 5 - 1 取り組む場合に知りたい情報（性別、年齢別、市民農園等の利用意向別）

